



のべおか



市議会だより

第65号

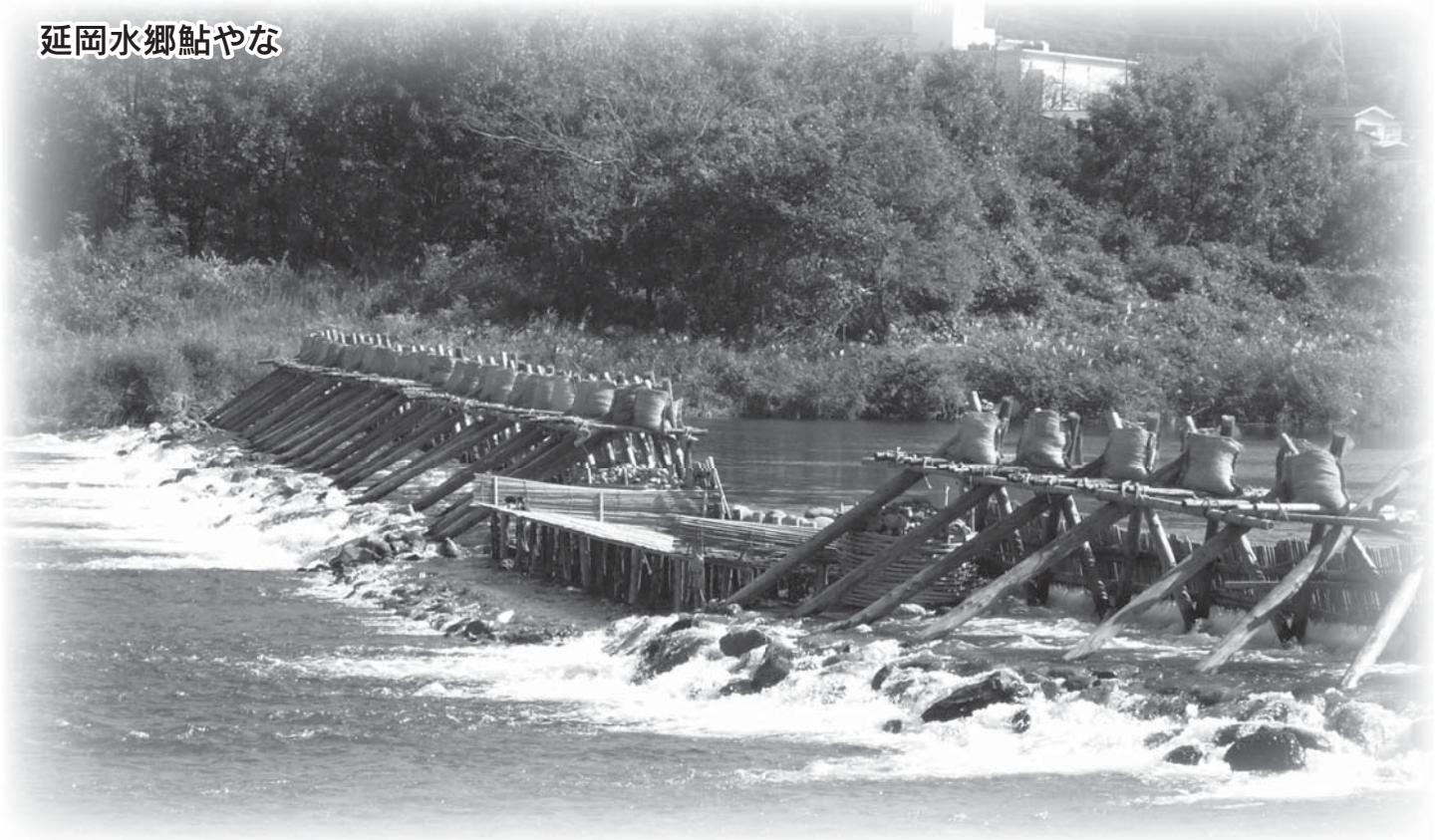
平成27年11月1日発行
(2015年)

発行: 延岡市議会
編集: 広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1

TEL (0982) 22-7029

延岡水郷鮎やな



川水流やな

主な掲載内容

◆議会活動報告会開催…………… 2

◆一般質問…………… 4～6

◆9月議会で決まったこと…………… 3

◆行政視察の受け入れ及び実施状況など… 8



議会活動報告会を開催!!

開かれた議会を目指して

市議会では、議会基本条例に基づき、開かれた議会の一環として、議会活動の内容を広く市民の皆様に理解していただくために、議会活動報告会を開催しています。

報告会では主に、各常任委員会が所管する事務調査の経過や、定例会での議案審査結果などを報告し、参加者の皆様と意見交換をしています。

10月は、川中地区・南浦地区・島浦地区・北方地区・北浦地区・北川地区の6地区で開催しましたところ、160人の方に参加していただきました。アンケート結果や今後の開催予定は下の表をご覧ください。



社会教育センター



ビーチの森すみえ管理棟



島野浦島開発総合センター



北方コミュニティセンター

今後の予定

H28年4月
(予定)

南方地区	岡富地区
伊形地区	東海地区
恒富地区	



北川町ホテルの宿



北浦公民館

10月のアンケート結果(概要) 139人より回答

報告会への参加は何回目ですか?	初めて 47.5%	2回目 19.4%	3回以上 31.7%	無記入 1.4%		
内容は良かったですか?	はい 82.7%		いいえ 3.6%	無記入 13.7%		
時間は適当でしたか?	はい 88.5%		長かった 1.4%	短かった 2.9%	無記入 7.2%	
また来てみたいですか?	はい 84.9%		いいえ 4.3%	無記入 10.8%		
開催をどのような方法で知りましたか?	地区の回覧 49.6%	PTA関係 1.4%	市ホームページ 2.2%	知人からの案内 17.3%	その他(行政防災無線等) 18.7%	無記入 10.8%

9月議会で決まったこと

9月議会では、一般会計補正予算など20件の議案と意見書1件を可決し、15件の報告を受けました。
 また、一般質問では3日間で14名が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、防災対策、観光振興など多岐にわたる質疑が活発になされました。平成26年度の決算関係の議案につきましては、12月議会まで継続して審査することにしており、11月に決算審査特別委員会を開き、審査する予定です。

議案

可決した議案と報告などの一覽

- 平成27年度 延岡市一般会計補正予算
- 平成27年度 延岡市国民健康保険特別会計補正予算
- 平成27年度 延岡市介護保険特別会計補正予算
- 平成27年度 延岡市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成27年度 延岡市下水道事業会計補正予算
- 延岡市電子計算組織に係る個人情報保護に関する条例の全部改正
- 延岡市情報公開・個人情報保護審査会設置条例の制定
- 延岡市情報公開条例の一部改正
- 延岡市職員の再任用に関する条例の一部改正
- 延岡市職員退職手当支給条例の一部改正
- 延岡市税条例等の一部改正
- 延岡市手数料条例の一部改正
- 延岡市立幼稚園条例の一部改正
- 指定管理者の指定（延岡市土々呂コミュニティセンター）
- 財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車）
- 訴えの提起
- 教育長の選任（笠江孝一氏）
- 人権擁護委員候補者の推薦
（志野崎光洋氏、伊東忠俊氏、小田むつ子氏）

意見書を国に提出!!

延岡市議会では本市だけでは、解決できない課題について、地方自治法に基づき、関係機関に意見書を提出しています。9月議会では左記の意見書を可決し、国に提出しました。

「少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書」

1. 豊かな教育環境を整備するため少人数学級を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

報告案件

- 延岡市土地開発公社の経営状況
- 公益財団法人延岡総合文化センターの経営状況
- 一般財団法人延岡市高齢者福祉協会の経営状況
- 株式会社ヘルストピア延岡の経営状況
- 有限会社延岡市リサイクルプラザゲン丸館の経営状況
- 一般財団法人速日の峰振興事業団の経営状況
- 一般財団法人北浦町農業公社の経営状況
- 北浦総合産業株式会社の経営状況
- 株式会社北川はゆまの経営状況
- 専決処分報告（車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）他3件
- 健全化判断比率の報告
- 資金不足比率の報告

請願・陳情

- TPP交渉に関する意見書提出を求める請願（継続審査）
- 米価暴落対策に関する意見書提出を求める請願（不採択）
- 延岡市議会議員の定数・報酬の削減及び費用弁償の見直しを求める陳情（継続審査）
- 延岡市における保育士・幼稚園教諭養成機能・機関の確保を求める陳情（継続審査）



市政を問う!!

9月8日	長友幸子議員 (社民党市議団) ●交通弱者対策 ●学校支援員 ○子どもの貧困 他	西原茂樹議員 (公明党市議団) ●長寿祝金支給事業 ●貸出し用防犯カメラの整備 ○回収ゴミの活用 他	上杉泰洋議員 (のべおか市民派クラブ) ●買い物弱者対策 ●島野浦の開発 ○旭ヶ丘地区等の渋滞対策 他
	小野孝議員 (自民党さすなの会) ●総合支所機能の充実 ●林業の成長産業化 ○防災対策 他	北林幹雄議員 (自民党さすなの会) ●保育士等養成機能の確保 ●三北の総合支所 ●曾立内水対策 他	
9月9日	小田忠良議員 (無所属) ●祝子川の生態系保護 ●テトラポッドの撤去 ○職員の旅費日当の見直し 他	本部仁俊議員 (友愛クラブ) ●観光振興 ●交通対策 ●ICT教育推進 他	早瀬賢一議員 (友愛クラブ) ●高齢者ゴミ出し支援 ●Wi-Fiの普及促進 ○遺品廃棄物の収集運搬 他
	中城あかね議員 (自民党さすなの会) ●学校施設の整備 ●学校環境の整備 ○施策の優先順位 他	河野治満議員 (のべおか市民派クラブ) ●地域振興基金 ●介護保険料の報奨金制度 ●放棄されている廃船対策 他	
9月10日	下田英樹議員 (友愛クラブ) ●土曜授業 ●子ども会 ○自治区未加入者対策 他	小野正二議員 (公明党市議団) ●観光圏の整備 ●コンビニ交付サービス ●新庁舎の電力使用量 他	
	梶本英一議員 (自民党さすなの会) ●市道改良工事 ●安井地区の津波避難路 ●下祝子稲葉崎線 他	松本哲也議員 (社民党市議団) ●災害に強い施設整備 ●避難所・避難場所 ●延岡市人口ビジョン 他	

議員14名が一般質問

※質問の一部を掲載します。
※○は未掲載

9月8日質問

交通弱者対策

【問】市南部地域には、公共交通機関のない地域や、ニーズに合わない地域がある。

【答】交通空白地域において

関係機関と連携・協力しながら、乗合タクシー等の導入を進めている。地域の意見や利用見込み等を踏まえながら検討する。利用者のニーズについては、運行ダイヤの見直し等、バス事業者と協議を行っている。

【問】いじめや不登校、障がいがある児童生徒の対応など、支援員のニーズは高まっている。今後の増員の取り組みは。

【答】今まで以上に現場の声に耳を傾け、各学校や児童生徒一人一人が抱える教育的ニーズに出来るよう、支援体制の在り方を検討する。

【問】88歳と100歳に贈る長寿祝金支給事業は、9月1

日を基準日として支給を決定しており、誕生日が過ぎていても、祝金を貰えない。反対に、87歳であっても頂けるといふ、おかしな事業になっている。誕生日に合わせた支給にすべきではないか。

【答】本市としては、市全体で敬老及び健康長寿をお祝いする機運を高めるという意味合いからも、現行の方法を継続していく。

【問】市民からの相談の中で防犯カメラを必要とする案件が3件あった。市において貸出し用の防犯カメラの整備はできないか。

【答】近隣とのプライバシーの問題にも関わるので、貸出しには難しい問題がある。

【問】高齢社会を迎え各地域で増加が予想される買い物弱者対策は。

【答】買い物弱者対策については、その重要性を認識している。まずは、民間事業者による買い物弱者サービスを基本に検討する。

【問】島野浦の開発は、観光面でも目玉になる。離島振興法も考慮しての開発の考えは。

【答】本市では、観光商品作りに努めているが、「わけあって延岡」半日おすすりコースの一つである「絶景離島周遊クルージングと島ごはん」は、大変評判が高い。今後とも地元のご意見を伺い、離島振興法も考慮し、観光施策を推進する。

【問】合併後10年となり、本年度が総合支所として最後の年となる。今後の組織体制と各課の人員配置は。

【答】本庁や総合支所各課からのヒアリング、所管事務量の調査結果等も参考にしながら、28年度以降の支所体制や必要な人員配置について検討を行っていく。

【問】合併後10年となり、本年度が総合支所として最後の年となる。今後の組織体制と各課の人員配置は。

【答】本庁や総合支所各課からのヒアリング、所管事務量の調査結果等も参考にしながら、28年度以降の支所体制や必要な人員配置について検討を行っていく。

【問】合併後10年となり、本年度が総合支所として最後の年となる。今後の組織体制と各課の人員配置は。

【答】本庁や総合支所各課からのヒアリング、所管事務量の調査結果等も参考にしながら、28年度以降の支所体制や必要な人員配置について検討を行っていく。

長寿祝金支給事業

【問】88歳と100歳に贈る長寿祝金支給事業は、9月1

学校支援員

【問】いじめや不登校、障がいがある児童生徒の対応など、支援員のニーズは高まっている。今後の増員の取り組みは。

【答】今まで以上に現場の声に耳を傾け、各学校や児童生徒一人一人が抱える教育的ニーズに出来るよう、支援体制の在り方を検討する。

【問】88歳と100歳に贈る長寿祝金支給事業は、9月1

日を基準日として支給を決定しており、誕生日が過ぎていても、祝金を貰えない。反対に、87歳であっても頂けるといふ、おかしな事業になっている。誕生日に合わせた支給にすべきではないか。

【答】本市としては、市全体で敬老及び健康長寿をお祝いする機運を高めるという意味合いからも、現行の方法を継続していく。

【問】市民からの相談の中で防犯カメラを必要とする案件が3件あった。市において貸出し用の防犯カメラの整備はできないか。

【答】近隣とのプライバシーの問題にも関わるので、貸出しには難しい問題がある。

【問】高齢社会を迎え各地域で増加が予想される買い物弱者対策は。

【答】買い物弱者対策については、その重要性を認識している。まずは、民間事業者による買い物弱者サービスを基本に検討する。

島野浦の開発

【問】島野浦の開発は、観光面でも目玉になる。離島振興法も考慮しての開発の考えは。

【答】本市では、観光商品作りに努めているが、「わけあって延岡」半日おすすりコースの一つである「絶景離島周遊クルージングと島ごはん」は、大変評判が高い。今後とも地元のご意見を伺い、離島振興法も考慮し、観光施策を推進する。



絶景離島周遊クルージング

総合支所機能の充実

【問】合併後10年となり、本年度が総合支所として最後の年となる。今後の組織体制と各課の人員配置は。

【答】本庁や総合支所各課からのヒアリング、所管事務量の調査結果等も参考にしながら、28年度以降の支所体制や必要な人員配置について検討を行っていく。

【問】合併後10年となり、本年度が総合支所として最後の年となる。今後の組織体制と各課の人員配置は。

【答】本庁や総合支所各課からのヒアリング、所管事務量の調査結果等も参考にしながら、28年度以降の支所体制や必要な人員配置について検討を行っていく。

林業の成長産業化

【問】延岡市の民有林のうち約7割が標準伐採時期^{注1}を迎えている。国も木材利用を進めるため林業振興を掲げているが、この森林資源を生かし、林業を成長産業として取り組むべきでは。

【答】本市の豊かな森林資源を有効利用することは、最も重要な課題の一つであると認識している。「みやざきの杉」を活用するよう国にも働きかけを行っている。

保育士等養成機能の確保

【問】地方から保育士等が流出する中、保育士等の養成をどうするか。

【答】保育士等の不足は全国的な問題だが、保育士等の掘り起こしや就職説明会、養成のための研究を実施する。

三北の総合支所

【問】三北地域は延岡全市の3分の2を占める森林資源地帯だが、ここをニューフロンティアとして位置付ける考えはないか。

【答】三北地域の潜在力を生かし、産業育成や雇用創出に繋げたい。支所の体制も人

員配置や権限も検討したい。

曾立内水対策



曾立内水対策

【問】北川町曾立内水対策は長年の課題だが、責任はどこにあり、最善の策は何か。

【答】責任は県と市にあり、対策窓口は北川町総合支所である。ポンプ場設置が最善策であると考えている。

9月9日質問

祝子川の生態系保護

【問】五ヶ瀬川と大瀬川を結ぶ隔流堤^{注2}水門を、稚魚が遡上する12月から翌年4月ごろまで、開門できないか。

【答】隔流堤水門は市民の安全を確保することを目的として設置されたことに鑑み、関係機関の意見を伺いたい。

テトラポッドの撤去

【問】稚魚の遡上を助けるために、テトラポッドを海岸から100メートル位、撤去できないか。

【答】周辺海域における船舶の航行安全を確保する上でテトラポッドの一部を撤去することは非常に難しい。今後長期的な課題として、関係機関と慎重に検討する。



隔流堤

観光振興

【問】本市への転勤者を観光大使に委嘱しては。

【答】里帰り観光として有効な取り組み。今後、観光協会と相談していく。

交通対策

【問】鶴ヶ丘入口交差点の改良は。

【答】右折レーン設置を含めた交差点改良を、警察等関係機

関と協議し、検討していく。



鶴ヶ丘入口交差点

ICT教育^{注3}推進

【問】教職員へのデジタル校務システム^{注4}の導入は。

【答】相当規模の費用を要するが、大変重要なことであり、今後関係機関と協議し、研究していく。

高齢者^{注5}ゴミ出し支援

【問】単身高齢者等、家庭ゴミを運ぶことが困難な方の負担軽減を図るため、戸別訪問によるゴミ収集や、声掛けを行う高齢者等^{注6}ゴミ出し支援事業に取組む考えは。

【答】高齢者等のゴミ出しの負担を軽減できるような制度を、先進市の事例等も研究しながら検討したい。

WiFi^{注5}の普及促進

【問】主要観光スポットへ公

共無線ラン(WiFi)を提供する自動販売機を、民間と協定締結し、ゼロコストで設置する取組みを進めては。

【答】観光地での効率的かつ効果的な環境整備につながることを認識している。今後、設置条件の整理や課題と検証の結果を踏まえ検討したい。

学校施設の整備

【問】窓ガラスのひび割れや窓が開かない等、改善されていない。今後の対策は。

【答】早急な対応を図るよう心掛けており、建具の更新や床板の補修等についても学校と連絡を取りながら、順次対応を進めていく。

学校環境の整備

【問】子どもたちの成長に合った椅子と机の整備状況は。

【答】教科書の大判化等に対応した新JIS規格の机と椅子を順次導入しており、高さの調整が可能な「可動式」のものを購入するなど、児童生徒の体型や成長に配慮した整備を行っていく。

地域振興基金

【問】合併特例債の償還が完



了し、取り崩しが可能となったが、今後の活用範囲は。

【答】本年度は、E.T.O.ランドの風力発電施設の解体事業等、ハード事業にも活用しており、今後は全市的な視点で有効活用していく。

介護保険料の報奨金制度

【問】保険料を納めるだけの方は不公平感がある。あらかじめ設定した利用額に満たない方に特別報奨金を支給する考えは。

【答】報奨金制度は、大変意義深いと認識している。介護保険制度の適正利用といった視点も含め、研究課題にしたい。

放棄されている廃船対策

【問】廃船は、災害時に危険漂流物となり、観光面でもマイナスであるが対策は。

【答】県や漁協等と環境改善に向けた協議を進めたい。

9月10日質問

土曜授業

【問】6月から土曜授業が試行された。しかし、目的や利点

が保護者や先生方に正しく伝わっておらず、また先生方の負担軽減策も必要である。実施後の課題と解決策は。

【答】各学校が試行錯誤をしながら基盤づくりを行っているので、先生方には一定の負担がある。学校・保護者・関係団体等の意見を聞きながら課題等を整理し、先生方の負担を和らげる施策も検討する。

子ども会

【問】子ども会活動は年々減少している。今後の具体的な対策は。

【答】様々な機会を通じてモデルとなる地域を積極的にPRするなど、子ども会の活性化に向けた取り組みを支援していく。

観光圏の整備

【問】本市の観光に、滞在交流型観光の視点が必要と考えられる。観光圏の整備の考えは。

【答】食やエコパークを特定のテーマとした観光圏の整備ができないか、周辺自治体などと協議したい。

コンビニニ交付サービス

【問】コンビニで、住民票の写

し等入手できるサービスを導入しては。

【答】導入自治体の利用実態やシステム導入のコスト等について検討を進めている。

新庁舎の電力使用量

【問】新庁舎の電気使用料金は旧庁舎の約1.75倍である。契約電力の引き下げによる電気料金の考えは。

【答】10月から契約電力を見直し、電気料金の削減を図りたい。

市道改良工事

【問】来年度以降の延岡市の道路改良の方針は。

【答】改良工事の必要性については十分認識しているが、補助財源の確保が難しい中で、各地域の実情を十分に把握し、道路改良を推進していきたい。

安井地区の津波避難路

【問】津波時の緊急避難路の整備計画は。

【答】新規工事として「協働・共汗津波避難路整備事業」による整備を計画する。

下祝子稲葉崎線

【問】今後の整備計画は。

【答】地元の皆様と協議を行い、限られた予算の中で出来る限り離合場所の設置や舗装工事、また、除草などの整備を実施していく。



下祝子稲葉崎線

災害に強い施設整備

【問】道路の高上げや拡張など幹線道路を「身近な命の道」と捉えた整備は。

【答】地元からの要望等を踏まえながら、道路や地形の状況を調査し、総合的に検討していく。

避難所・避難場所

【問】建物の壁面等を利用し、いつでも誰でもわかる避難所等の表示や看板等の設置をしては。

【答】わかりやすい看板表示の研究や「津波浸水深」表示の可能性を検討していく。

延岡市人口ビジョン

【問】地元企業と連携し、就労促進するために、インターンシップの活用は。

【答】企業や学生のニーズをしっかりと把握し、連携を図りながら地元企業への就労促進に取り組んでいく。

用語解説

【注1】標準伐採時期
木の種類ごとに平均成長量が最大となる年齢を基準として、伐採時期を決めている。
(スギ35年、ヒノキ40年等)

【注2】隔流域
河川の流れを分離し、河川合流部の水位上昇を防止するために築造された堤防のこと。

【注3】ICT教育
学校教育の場に情報通信技術（ICT）を活用すること。具体的には、電子黒板やタブレット型端末などを用いた教育を指すことが多い。

【注4】デジタル校務システム
教職員の日々の校務処理の負担を軽減するため、データでの学籍管理等、様々な機能が含まれたシステムのこと。

【注5】WiFi（ワイファイ）
パソコン等のネットワーク対応機器が、無線の電波でインターネットに接続できるようになる方式のこと。

九州中央自動車道「早期整備を!!」総会・決起大会



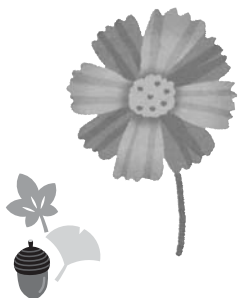
8月3日、ガーデンベルズ延岡において「九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会」が開催され、宮崎県・熊本県側合わせて加盟16市町村の議会議員や国・県からの来賓など約250人の出席のもと、議会在結して早期整備に取り組むことを確認しました。

また、概略ルート・構造の検討段階にある「蘇陽～高千穂」間の早期事業化などを要望する大会決議を採択しました。

追跡！その後どうなった？ 請願・陳情

市民の皆様の見解や要望などを市政に反映させる方法の一つに請願・陳情の制度があります。議会では、前年度に採択した請願がその後どのように市政に反映されているか市当局に回答を求めました。

【請願名】	【議会採択年月日】	【処理状況】
子どもの医療費助成を小学校卒業まで引き上げをを求める請願	平成26年6月20日	子どもの医療費助成の拡大については、平成27年度4月から入院に係る医療費助成対象を小学校卒業まで拡大しました。



議会中継等の案内

一般質問の様子は、生中継しています。

【テレビ放映】ケーブルメディアワイワイ 111ch
 【ラジオ放送】FMのべおか 88.6MHz

このほか、本会議の内容はインターネットで確認することができます。

【会議録検索システム】
 延岡市ホームページ>延岡市議会>会議録検索

傍聴案内

新しい議場で、本会議を傍聴しませんか？本会議の傍聴は、自由にできます。傍聴席には、マイクで拾った音を補聴器に送る集団補聴システムを設置しています。



磁気ループ受信機
 (2台まで貸出可能)

※お問い合わせは、議会事務局まで



平成26年度行政視察受け入れ状況

時期	県別分布	都市数	視察人数	
			議員	職員
4～6月	静岡1、石川1、大阪1、大分1 宮崎1	5	30	5
7～9月	北海道1、岩手1、秋田1、山口1、 鹿児島1、長野1	6	36	6
10～12月	北海道1、青森1、福島1、栃木1、 東京1、神奈川1、長野1、福井1、 福岡2、熊本1	11	81	9
1～2月	岩手1、福島1、神奈川1、山口1	4	20	1
合計		26	167	21

ようこそ延岡市へ

行政視察受け入れ状況

26都市188人が来延
毎年、本市には全国各地の議会から、行政の取り組み状況や市内の関連施設について視察の方々が訪れます。

昨年度は、新庁舎への移転等により、2月初めまでしか受け入れできませんでした。26都市188人が視察に訪れました。

視察の目的は、「新庁舎建設関係」や「メディカルタウン構想」「地域医療を守る条例」など本市から積極的な情報を発信している事業に関する視察が増加しました。

本市議会の視察実施状況
本市議会でも、各種事業に関する先進地の取り組みを視察調査し、それを参考に本市の市政に活かせるよう調査活動を行っています。今年度10月までの状況は左表のとおりです。

視察都市の主な調査項目 () 内の数字は視察件数

議 会…議会改革 (1)、議会報発行 (1)
企 画…新庁舎建設基本計画 (2)、自治体クラウド (1)
総 務…地域防災計画 (1)、津波避難タワー (1)
産 業…延岡駅周辺整備 (2)、メディカルタウン構想 (3)、
観光振興 (1)
福祉・教育…地域医療を守る条例 (7)、土曜授業 (1)

本市議会の視察実施状況

期 間	会派名・委員会名	調査項目	視察地
10/21～23	総務財政委員会	①業務継続計画(BCP)策定の推進 ②消防・救急体制の充実	三島市、瀬戸市
10/20～23	都市建設委員会	①空き家対策 ②都市公園整備	宇都宮市、 飯山市、南砺市
10/26～28	経済環境委員会	①鮎資源の保全と利活用 ②延岡新時代の観光振興	豊田市、上越市
10/27～29	福祉教育委員会	①少子化対策・子育て支援の推進 ②学力向上	坂井市、大垣市

編集後記

異常気象と言われる集中豪雨や竜巻が日本列島を襲っています。日本の平均気温が、100年で1.1℃上昇して温帯気候が、熱帯気候に変わりつつあるかもしれません。

排水溝や堤防等の防災の基準を超える豪雨になる可能性が高くなっています。

生態系への影響も気候変動に起因して、延岡の名産である鮎の減少にならないことを祈っています。

11月には、「エンジン01」で延岡の食を全国に発信する機会になります。

市民力を発揮して、延岡を大いにPRしていきたいと思っています。

